

製品名: SKP2 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86276**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000, ICC/IF 1:50-1:100
分子量	Calculated MW:48 kDa; Observed MW:48 kDa

抗原情報

遺伝子名	SKP2
別名	p45; FBL1; FLB1; FBXL1
遺伝子 ID	6502
SwissProt ID	Q13309
免疫原	ヒト SKP2 の合成ペプチド

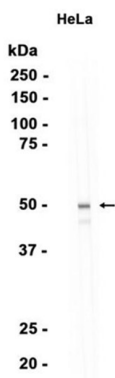
背景

この遺伝子は、約40アミノ酸のモチーフであるFボックスを特徴とするFボックスタンパク質ファミリーのメンバーをコードしま

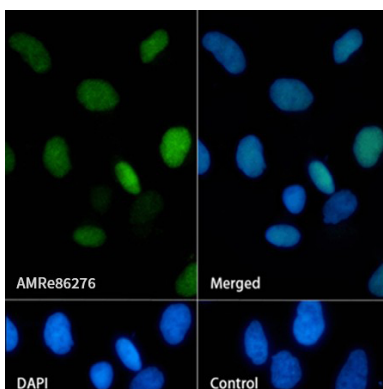
す。Fボックスタンパク質は、リン酸化依存性ユビキチン化に機能する SCF (SKP1-cullin-F-box) と呼ばれるユビキチンタンパク質リガーゼ複合体の4つのサブユニットの1つを構成します。Fボックスタンパク質は、WD-40ドメインを含む Fbws、ロイシンリッチリピートを含む Fbls、および異なるタンパク質間相互作用モジュールまたは認識可能なモチーフを含まない Fbxs の3つのクラスに分類されます。この遺伝子によってコードされるタンパク質は Fbls クラスに属し、Fボックスに加えて、10個のロイシンリッチリピートが直列に並んでいます。このタンパク質は、サイクリン A-CDK2 S期キナーゼの必須要素です。この遺伝子は、主にS期においてリン酸化サイクリン依存性キナーゼ阻害因子1B (CDKN1B、p27 または KIP1 とも呼ばれる) を特異的に認識し、S期キナーゼ関連タンパク質1 (SKP1 または p19) と相互作用する。さらに、この遺伝子はリンパ腫の病因に関与するプロトオンコ遺伝子として確立されている。この遺伝子の選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする3つの転写バリエーションが生成される。[RefSeq 提供、2011年7月]

研究分野

画像データ



SKP2 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した HeLa 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。



AMRe86276 で SKP2 を標識した HeLa 細胞の免疫蛍光分析。